

研究課題

高齢者における血液学的炎症マーカーと治療成績の検討

研究期間

2020年8月1日～2020年12月31日

研究機関

市立吹田市民病院 外科

対象

2006年6月から2014年4月までに当院で大腸癌根治手術を行った80歳以上の方

目的

寿命の延長とともに、高齢者大腸癌を治療する機会が増えている。高齢者は生理機能が低下していることに加え、併存症を有する症例が多い。そのため、高齢者の大腸癌手術は術後合併症が多く、予後が悪いとされる。しかしながら、超高齢化社会にある現代において、多様な背景を有する高齢者の治療成績を年齢だけで判断することは困難となってきた。

近年、癌の治療成績に影響を及ぼすとされる体内の免疫・炎症反応について注目が集まっている。CRP/アルブミン (CAR)、リンパ球数/単球数 (LMR)、好中球数/リンパ球数 (NLR)、血小板数/リンパ球数 (PLR) や prognostic nutritional index (PNI)、Glasgow prognostic score (GPS) 等が簡便な免疫・炎症マーカーとして知られる。これらは様々な癌種において、その短期・長期治療成績の予測因子となりうる事が多数報告されてきた。しかし、高齢者大腸癌に対する免疫・炎症マーカーの意義についてはほとんど報告されていない。

本研究の目的は、高齢者大腸癌の治療成績を予測できる免疫・炎症マーカーを同定することである。

方法

ROC 解析を用いて、炎症マーカー (CAR, LMR, NLR, PLR, PNI, GPS) と全生存率の関係や術後合併症の関係を調べる。次に、それぞれの AUC を比較することで、その関連の強さを評価する。

意義

治療リスクの予測が可能となれば、年齢を理由とした治療強度の減弱を回避することや、術前準備を強化する必要性の判断等、症例毎の治療方針の決定に役立つことが期待される。

個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから病歴および血液検査結果に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果はインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後 5 年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会・論文に発表することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。

本研究は当院臨床研究審査委員会の承認を得て実施しています。

お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

情報が本研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が学会・論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報やデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

市立吹田市民病院 外科 玉井 皓己

住所：〒564-8567 大阪府吹田市岸部新町 5-7 電話番号：06-6387-3311(代)